

2021年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社フリークアウト・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6094 URL https://www.fout.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 Global CEO (氏名) 本田 謙
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 永井 秀輔 TEL 03(6721)1740
 定時株主総会開催予定日 2021年12月23日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月24日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年9月期の連結業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	29,499	18.6	1,009	377.2	1,112	-	1,323	159.1	580	-
2020年9月期	24,878	14.6	211	-	△221	-	510	-	△669	-

（注）包括利益 2021年9月期 1,097百万円（-％） 2020年9月期 △513百万円（-％）

（注）EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋持分法による投資利益＋株式報酬費用

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2021年9月期	円 銭 34.51	円 銭 31.95	% 10.4	% 5.0	% 3.4
2020年9月期	△42.04	-	△15.2	△0.9	0.9

（参考）持分法投資損益 2021年9月期 △85百万円 2020年9月期 △139百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	20,534	7,856	33.1	380.40
2020年9月期	24,316	6,356	18.9	278.22

（参考）自己資本 2021年9月期 6,797百万円 2020年9月期 4,595百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	1,902	△1,344	△4,632	5,996
2020年9月期	844	△684	4,088	9,916

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2021年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2022年9月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	-	1,050	4.0	1,150	3.4	1,500	13.3	-	-	-

（注）2022年9月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、売上高の対前期増減率は記載しておりません。

なお、2021年9月期の売上高に当該基準等を適用したと仮定して算出した売上高は261億円（概算）となります。

また、現時点では2022年9月期の業績に影響を与える未確定な要素が多いため、通期の親会社株主に帰属する当期純利益の合理的な業績予想の算定が困難な状況です。当該連結業績予想については、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表する予定です。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

除外 1社 (社名) 株式会社インティメート・マージャー

(注) 詳細は、添付資料P. 15「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(当連結会計年度における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年9月期	18,015,424株	2020年9月期	16,660,700株
2021年9月期	145,184株	2020年9月期	144,340株
2021年9月期	16,821,875株	2020年9月期	15,936,491株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	938	43.7	72	-	128	-	△229	-
2020年9月期	653	△67.4	△463	-	△629	-	△766	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期	△13.62	-
2020年9月期	△48.13	-

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	11,014	5,709	51.8	319.18
2020年9月期	15,201	4,143	27.2	250.67

(参考) 自己資本 2021年9月期 5,703百万円 2020年9月期 4,140百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は、投資先の有価証券の一部売却を実施し、投資事業の売上高や売上総利益率が増加したことにより、営業利益、経常利益、当期純利益においても前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	15
(表示方法の変更)	15
(連結損益計算書関係)	15
(追加情報)	15
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	21
(重要な後発事象)	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、ミッションである「人に人らしい仕事を。」の実現を目指し、日本、北米、東アジア、及び東南アジアを中心に、グローバルに事業を展開しております。

当連結会計年度においても、新型コロナウイルス感染症による当社ビジネスへの影響は引き続き継続しておりますが、東アジア及び東南アジアの一部では大きな影響が生じた一方で、日本及び北米では前年度と比較して大幅にその影響が軽減されました。しかしながら、今後も変異種の発生・流行状況や各国でのワクチン接種状況など、現時点では新型コロナウイルス感染症による影響を正確に予測することは困難であるため、引き続き世界経済の状況を注視してまいります。

このようなマクロ環境のもと、当連結会計年度における当社の経営成績は以下のような内容となりました。

まず、国内広告・マーケティング事業においては、中核子会社である株式会社フリークアウトにおいて、ネイティブアドプラットフォーム「Poets」が業界全体の不振の影響を受けて苦戦した一方で、中期経営計画のフォーカス領域である「プレミアム媒体支援」事業の一部である、動画・Connected TV領域の事業が、順調に収益貢献いたしました。

次に、海外広告・マーケティング事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響で東南アジアの事業が苦戦した一方で、米国法人Playwire, LLCが対前年比で引き続き大きく成長し、業績を強く牽引いたしました。

さらに、一部投資有価証券の減損を実施した一方で、連結子会社であった株式会社デジタルフトの上場時の株式売出に伴う売却益の計上などで、バランスシートは大幅に改善されています。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高29,499百万円（前年同期比18.6%増）、営業利益1,009百万円（前年同期比377.2%増）、経常利益1,112百万円（前年同期は経常損失221百万円）、EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋持分法による投資利益＋株式報酬費用）1,323百万円（前年同期比159.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益580百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失669百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度において、「DMP事業」を構成していた株式会社インテュート・マージャーを連結の範囲から持分法適用の範囲に変更したことにより、「DMP事業」を報告セグメントから除外しております。同社に対する当連結会計年度の持分法による投資損益については「その他事業」に含めて記載しております。

(広告・マーケティング事業)

広告・マーケティング事業では、モバイルマーケティングプラットフォーム「Red」(DSP)、プレミアム媒体を対象とした広告プラットフォーム「Scarlet」(従来の「Red for Publishers」をリブランディング)、ネイティブアドプラットフォーム「Poets」及びトレーディングデスクの提供を行い、広告主の広告効果最大化及び媒体社の収益最大化に取り組みました。

当連結会計年度においては、ネイティブアドプラットフォーム「Poets」が業界全体の不振の影響を受けて苦戦した一方で、中期経営計画のフォーカス領域である「プレミアム媒体支援」事業の一部である、動画・Connected TV領域の事業(Scarlet)が堅調に推移し、それに伴い株式会社フリークアウトの主力プロダクトであるモバイルマーケティングプラットフォーム「Red」についても順調に推移しております。

また、海外子会社においてはPlaywire, LLCが引き続き強力で業績を牽引しております。

この結果、広告・マーケティング事業の外部顧客への売上高は28,916百万円(前年同期比29.3%増)、セグメント利益は1,416百万円(前年同期比90.1%増)、EBITDAは1,848百万円(前年同期比82.0%増)となりました。

(投資事業)

投資事業では、Global展開のポテンシャルを有する製品/ソリューションを開発するITベンチャー企業を主たる投資対象として、投資リターンによる企業価値の向上を図るための事業を行っております。

当連結会計年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響を比較的受けやすい一部の投資先の有価証券について減損を実施した一方で、投資先の有価証券の一部売却を実施いたしました。

この結果、投資事業の外部顧客への売上高は521百万円(前年同期比17.9%増)、セグメント利益は147百万円(前年同期比18.6%減)、EBITDAは124百万円(前年同期比29.1%減)となりました。

(その他事業)

その他事業では、国内外のグループにおける経営管理機能等の提供をしております。

当連結会計年度においては、海外拠点の管理体制の強化、海外子会社からの配当金受領等を実施いたしました。

この結果、その他事業の外部顧客への売上高は61百万円(前年同期比22.1%増)、セグメント利益は266百万円(前年同期はセグメント損失159百万円)、EBITDAは172百万円(前年同期は△128百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は20,534百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,781百万円減少しました。これは主に、売上増により受取手形及び売掛金が720百万円、株式会社インティメート・マージャーの連結子会社から持分法適用関連会社への移行などにより投資有価証券が798百万円増加した一方で、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債の償還等により現金及び預金が3,919百万円、有価証券の一部売却及び減損により営業投資有価証券が327百万円減少したほか、未収入金及びその他の流動資産が726百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は12,678百万円となり、前連結会計年度末と比べ5,281百万円減少しました。これは主に、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債4,500百万円の償還、転換社債型新株予約権付社債1,527百万円の転換、返済による短期借入金の減少574百万円があった一方で、買掛金が813百万円、長期借入金が364百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は7,856百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,499百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が580百万円増加し、転換社債型新株予約権付社債の転換等により資本金及び資本剰余金が1,484百万円増加した一方で、連結子会社の持分法適用関連会社への異動等に伴い非支配株主持分が705百万円減少したものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より3,919百万円減少し、5,996百万円となりました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動においては、1,902百万円の流入（前連結会計年度は844百万円の流入）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益の計上1,408百万円及び仕入債務の増加1,065百万円による流入があったものの、売上債権の増加1,192百万円による流出があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動においては、1,344百万円の流出（前連結会計年度は684百万円の流出）となりました。これは主に、貸付金の回収による収入270百万円があったものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出1,112百万円、投資有価証券の取得による支出152百万円、有形固定資産の取得による支出124百万円及び無形固定資産の取得による支出142百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動においては、4,632百万円の流出（前連結会計年度は4,088百万円の流入）となりました。これは主に、社債の償還による支出4,500百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、「人に人らしい仕事を。」をミッションとして掲げ、更なる企業価値の向上に邁進してまいります。

具体的には、まず引き続き成長が見込まれる国内インターネット広告市場において、従来の主力事業である広告・マーケティング事業に加えて、「Red For Publishers」からリブランディングされた「Scarlet」による収益貢献を進めてまいります。また、伊藤忠商事との提携事業や、新たな優良メディアの獲得などを目的とする大型のアライアンス、digitalサイネージ事業の多角化などを積極的に進めることで、成長を加速させてまいります。

また、著しい成長を見せる海外インターネット広告市場においては、北米を中心に事業を展開するPlaywire, LLCが急速に成長しており、中期経営計画の最終年度である2023年9月期に向けて引き続き同社の収益最大化を進めてまいります。また、事業・拠点の選別が一巡した東アジア、東南アジアの各拠点についても、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中ではありますが、収益力の強化に努めてまいります。

さらに、当社の技術基盤を活用して、従来取り組んでまいりましたインターネット広告事業のみならず、FinTech領域、RetailTech領域にも引き続き投資を進め、将来へ向けた企業価値の更なる向上に努めてまいります。

一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は、2021年10月以降も継続するものの、ゆるやかな回復に向かうと考えておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大が進んだ場合、当社グループの顧客の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があり、それに伴う広告出稿の減少により当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。

以上の結果、2022年9月期の業績につきましては、売上高28,000百万円（当連結会計年度に「収益認識に関する会計基準」を適用したと仮定した場合の売上高は261億円（概算））、営業利益1,050百万円（当連結会計年度比4.0%増）、経常利益1,150百万円（当連結会計年度比3.4%増）、EBITDA1,500百万円（当連結会計年度比13.3%増）をそれぞれ見込んでおります。

※なお、詳細につきましては本日開示を予定しております「株式会社フリークアウト・ホールディングス2021/9月通期決算説明資料」をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国内外の諸情勢を考慮の上、必要に応じて国際財務報告基準（IFRS）の適用を検討する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,916,616	5,996,667
受取手形及び売掛金	4,340,364	5,060,553
未収入金	529,768	159,528
営業投資有価証券	994,451	667,119
その他	985,407	629,358
貸倒引当金	△274,001	△369,637
流動資産合計	16,492,607	12,143,590
固定資産		
有形固定資産		
建物	142,536	104,346
減価償却累計額	△94,918	△55,335
建物(純額)	47,617	49,010
工具、器具及び備品	643,825	678,458
減価償却累計額	△555,493	△577,887
工具、器具及び備品(純額)	88,331	100,571
リース資産	63,586	48,333
減価償却累計額	△19,199	△29,548
リース資産(純額)	44,386	18,784
有形固定資産合計	180,336	168,366
無形固定資産		
のれん	1,093,788	981,880
顧客関連資産	1,102,197	1,064,113
その他	106,927	169,249
無形固定資産合計	2,302,913	2,215,243
投資その他の資産		
投資有価証券	4,635,819	5,434,410
長期貸付金	152,431	182,525
敷金及び保証金	313,817	236,765
繰延税金資産	19,136	5,226
その他	259,845	277,907
貸倒引当金	△40,561	△129,280
投資その他の資産合計	5,340,489	6,007,554
固定資産合計	7,823,739	8,391,165
資産合計	24,316,347	20,534,755

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,065,897	3,879,667
未払金	565,134	370,486
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	4,500,000	-
短期借入金	2,702,610	2,128,153
1年内返済予定の長期借入金	623,993	703,276
リース債務	28,274	18,657
未払法人税等	78,415	238,344
未払消費税等	122,031	87,811
賞与引当金	179,666	308,411
役員賞与引当金	-	93,187
関係会社整理損失引当金	41,623	77,003
その他	367,627	281,019
流動負債合計	12,275,274	8,186,020
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	3,027,500	1,500,000
長期借入金	2,562,587	2,927,267
リース債務	18,189	6,578
資産除去債務	40,717	38,111
繰延税金負債	35,370	20,228
固定負債合計	5,684,364	4,492,184
負債合計	17,959,639	12,678,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651,163	3,548,299
資本剰余金	3,170,411	3,757,702
利益剰余金	△791,310	△210,845
自己株式	△322,213	△323,633
株主資本合計	4,708,049	6,771,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,433	19,205
為替換算調整勘定	△130,310	7,035
その他の包括利益累計額合計	△112,876	26,241
新株予約権	3,041	5,972
非支配株主持分	1,758,492	1,052,813
純資産合計	6,356,708	7,856,549
負債純資産合計	24,316,347	20,534,755

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	24,878,580	29,499,898
売上原価	19,071,824	22,617,304
売上総利益	5,806,756	6,882,593
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,277,314	2,174,235
賞与引当金繰入額	83,021	395,856
役員賞与引当金繰入額	-	162,142
貸倒引当金繰入額	△16,984	144,642
のれん償却額	165,787	126,437
不動産賃借料	398,201	279,551
その他	2,687,922	2,590,411
販売費及び一般管理費合計	5,595,263	5,873,277
営業利益	211,492	1,009,316
営業外収益		
受取利息	14,656	6,019
有価証券利息	2,499	27,500
為替差益	-	250,561
その他	73,204	51,740
営業外収益合計	90,361	335,821
営業外費用		
支払利息	63,399	69,827
投資事業組合運用損	8,459	10,347
為替差損	130,433	-
持分法による投資損失	139,895	85,871
資金調達費用	118,323	35,592
その他	62,391	31,106
営業外費用合計	522,902	232,746
経常利益又は経常損失(△)	△221,048	1,112,391

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
特別利益		
関係会社株式売却益	138,209	※ ₁ 1,013,952
投資有価証券売却益	104,777	-
持分変動利益	232,803	※ ₂ 287,903
その他	4,504	2,081
特別利益合計	480,294	1,303,937
特別損失		
固定資産除却損	2,584	4,330
関係会社株式売却損	29,333	-
投資有価証券評価損	26,891	381,001
減損損失	46,803	57,746
関係会社整理損失引当金繰入額	77,474	80,704
貸倒引当金繰入額	236,880	133,963
デリバティブ損失	-	※ ₃ 339,545
その他	60,530	10,580
特別損失合計	480,498	1,007,874
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△221,252	1,408,454
法人税、住民税及び事業税	158,661	495,715
法人税等調整額	61,314	△21,774
法人税等合計	219,976	473,940
当期純利益又は当期純損失(△)	△441,228	934,513
非支配株主に帰属する当期純利益	228,673	354,048
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△669,902	580,465

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△441,228	934,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,052	1,105
持分法適用会社に対する持分相当額	△34,282	35,265
為替換算調整勘定	△50,515	126,257
その他の包括利益合計	△72,746	162,628
包括利益	△513,974	1,097,142
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△723,843	719,582
非支配株主に係る包括利益	209,868	377,559

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,333,834	3,603,745	△2,141,712	△322,213	4,473,653
当期変動額					
新株の発行	317,328	317,328			634,657
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		249,336			249,336
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△669,902		△669,902
連結範囲の変動			20,303		20,303
欠損填補	△1,000,000	△1,000,000	2,000,000		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	△682,671	△433,334	1,350,401	-	234,396
当期末残高	2,651,163	3,170,411	△791,310	△322,213	4,708,049

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	5,871	△64,806	△58,935	4,053	1,467,019	5,885,791
当期変動額						
新株の発行						634,657
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						249,336
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△669,902
連結範囲の変動						20,303
欠損填補						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	11,562	△65,503	△53,941	△1,011	291,473	236,519
当期変動額合計	11,562	△65,503	△53,941	△1,011	291,473	470,916
当期末残高	17,433	△130,310	△112,876	3,041	1,758,492	6,356,708

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,651,163	3,170,411	△791,310	△322,213	4,708,049
当期変動額					
新株の発行	897,136	897,136			1,794,272
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△309,844			△309,844
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			580,465		580,465
自己株式の取得				△1,420	△1,420
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	897,136	587,291	580,465	△1,420	2,063,472
当期末残高	3,548,299	3,757,702	△210,845	△323,633	6,771,522

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	17,433	△130,310	△112,876	3,041	1,758,492	6,356,708
当期変動額						
新株の発行						1,794,272
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△309,844
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)						580,465
自己株式の取得						△1,420
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,771	137,345	139,117	2,930	△705,678	△563,631
当期変動額合計	1,771	137,345	139,117	2,930	△705,678	1,499,841
当期末残高	19,205	7,035	26,241	5,972	1,052,813	7,856,549

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△221,252	1,408,454
減価償却費	273,535	273,856
のれん償却額	165,787	126,437
賞与引当金の増減額(△は減少)	73,841	133,770
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	-	89,785
貸倒引当金の増減額(△は減少)	271,942	183,298
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	△128,524	37,150
受取利息	△14,656	△6,019
有価証券利息	△2,499	△27,500
支払利息	63,399	69,827
為替差損益(△は益)	99,563	△266,938
持分法による投資損益(△は益)	139,895	85,871
持分変動損益(△は益)	△232,803	△287,903
資金調達費用	118,323	35,592
投資事業組合運用損益(△は益)	8,459	10,347
投資有価証券売却損益(△は益)	△104,777	-
関係会社株式売却損益(△は益)	△108,876	△1,013,952
投資有価証券評価損益(△は益)	26,891	381,001
デリバティブ損益(△は益)	-	339,545
減損損失	46,803	57,746
固定資産除却損	2,584	4,330
売上債権の増減額(△は増加)	△9,273	△1,192,865
未収入金の増減額(△は増加)	71,703	319,299
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	232,417	327,332
その他の資産の増減額(△は増加)	176,638	47,233
仕入債務の増減額(△は減少)	267,450	1,065,434
未払金の増減額(△は減少)	△100,681	31,100
その他の負債の増減額(△は減少)	△344,754	△34,104
その他	△31,495	67,289
小計	739,642	2,265,423
利息の受取額	86,415	6,553
利息の支払額	△60,515	△71,107
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	79,188	△298,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	844,730	1,902,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33,196	△124,887
有形固定資産の売却による収入	2,493	836
無形固定資産の取得による支出	△76,085	△142,828
関係会社株式の取得による支出	△534,949	-
投資有価証券の取得による支出	△550,000	△152,518
投資有価証券の売却による収入	748,410	-
貸付けによる支出	△119,363	△56,820
貸付金の回収による収入	720,000	270,201
敷金及び保証金の差入による支出	△6,109	△23,672
敷金及び保証金の回収による収入	11,812	28,847
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△847,623	△1,112,089
その他	-	△31,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△684,610	△1,344,732
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△130,261	△374,456
長期借入れによる収入	1,396,544	1,378,074
長期借入金の返済による支出	△1,043,473	△766,595
社債の発行による収入	2,916,624	-
社債の償還による支出	-	△4,500,000
新株予約権の発行による収入	3,118	5,343
新株予約権の行使による株式の発行による収入	663,437	287,211
自己株式の取得による支出	-	△1,420
リース債務の返済による支出	△3,189	△31,157
非支配株主からの払込みによる収入	548,924	-
非支配株主への配当金の支払額	△250,859	△257,487
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△338,925
その他	△12,684	△33,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,088,180	△4,632,700
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39,563	154,976
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,208,735	△3,919,948
現金及び現金同等物の期首残高	5,690,122	9,916,616
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	26,893	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△9,135	-
現金及び現金同等物の期末残高	9,916,616	5,996,667

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

当連結会計年度において、当社の特定子会社であった株式会社インティメート・マージャーは株式譲渡により当社の特定子会社に該当しないこととなり、当連結会計年度の期首より、連結の範囲から持分法適用の範囲に変更しております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「特別利益」の「固定資産売却益」及び「特別損失」の「固定資産売却損」は金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「特別利益」の「固定資産売却益」に表示していた104千円及び「特別損失」の「固定資産売却損」に表示していた223千円は、「その他」として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「固定資産売却損益(△は益)」は金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「固定資産売却損益(△は益)」に表示していた119千円は、「その他」として組み替えております。

(連結損益計算書関係)

※1 関係会社株式売却益1,013,952千円の内容は、次のとおりであります。

主に、当社の連結子会社であった株式会社インティメート・マージャーと株式会社デジタルリフトの株式の売却益それぞれ654,046千円と316,573千円を計上したものです。

※2 持分変動利益287,903千円の内容は、次のとおりであります。

当社の持分法適用関連会社が、第三者割当増資を実施したことによるものです。

※3 デリバティブ損失339,545千円の内容は、次のとおりであります。

株式会社インティメート・マージャー株式の譲渡に伴う、同株式を対象とした株価変動に係るデリバティブ契約(株価連動取引契約)に基づいて発生した損失額であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当社グループが営む事業について足元の業績にも一部影響が生じております。新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は、2021年10月以降も継続するものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は不確定要素が多く、上記の仮定と異なる情勢となった場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービス

「広告・マーケティング事業」では、モバイルマーケティングプラットフォーム「Red」、プレミアム媒体を対象とした広告プラットフォーム「Scarlet」、ネイティブアドプラットフォーム「Poets」及びブトレーディングデスクの提供を行っております。

「投資事業」では、Global展開のポテンシャルを有する製品/ソリューションを開発するITベンチャー企業を主たる投資対象として、投資リターンによる企業価値の向上を図るための事業を行っております。

「その他事業」では、国内外のグループにおける経営管理機能等の提供を行っております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度において、「DMP事業」を構成していた株式会社インティメート・マージャーの株式を一部譲渡し、連結の範囲から持分法適用の範囲に変更したことにより、「DMP事業」を報告セグメントから除外しております。同社に対する当連結会計年度の持分法による投資損益については「その他事業」に含めて記載しております。

また、当連結会計年度より、従来「DSP事業」としていた報告セグメントの名称を「広告・マーケティング事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前連結会計年度の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法です。

報告セグメントの利益又は損失(△)は、営業利益又は営業損失(△)ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	広告・マーケ ティング事業	DMP事業	投資事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,361,771	2,023,938	442,655	50,215	24,878,580	-	24,878,580
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,137	18,365	-	870,487	903,991	△903,991	-
計	22,376,909	2,042,303	442,655	920,703	25,782,571	△903,991	24,878,580
セグメント利益又は損 失(△)	745,499	39,821	180,896	△159,550	806,668	△595,175	211,492
セグメント資産	12,865,386	1,618,242	1,205,883	10,932,457	26,621,969	△2,305,621	24,316,347
その他の項目							
減価償却費	251,532	2,293	-	19,709	273,535	-	273,535
減損損失	2,307	-	-	44,496	46,803	-	46,803
のれんの償却額	148,221	17,566	-	-	165,787	-	165,787
持分法適用会社への 投資額	687,693	32,817	129,919	139,214	989,645	-	989,645
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	95,701	9,347	-	3,534	108,582	-	108,582

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間取引の消去であります。

(2) セグメント資産の調整額はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	広告・マーケ ティング事業	投資事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,916,810	521,794	61,293	29,499,898	-	29,499,898
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	1,189,759	1,189,759	△1,189,759	-
計	28,916,810	521,794	1,251,053	30,689,658	△1,189,759	29,499,898
セグメント利益	1,416,883	147,176	266,583	1,830,643	△821,327	1,009,316
セグメント資産	13,434,809	915,968	8,691,867	23,042,644	△2,507,889	20,534,755
その他の項目						
減価償却費	263,362	-	10,494	273,856	-	273,856
減損損失	27,624	-	30,122	57,746	-	57,746
のれんの償却額	126,437	-	-	126,437	-	126,437
持分法適用会社への 投資額	1,115,808	187,623	802,077	2,105,508	-	2,105,508
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	230,737	-	61,252	291,989	-	291,989

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額はセグメント間取引の消去であります。

(2) セグメント資産の調整額はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アメリカ	台湾	その他	合計
12,880,735	6,130,254	3,473,105	2,394,485	24,878,580

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	台湾	その他	合計
113,623	45,000	21,712	180,336

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アメリカ	台湾	その他	合計
13,407,793	11,202,534	3,605,783	1,283,786	29,499,898

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	台湾	その他	合計
130,379	16,434	21,553	168,366

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	広告・マーケティング事業	DMP事業	投資事業	その他事業	計		
当期末残高	1,093,788	-	-	-	1,093,788	-	1,093,788

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	広告・マーケティング事業	投資事業	その他事業	計		
当期末残高	981,880	-	-	981,880	-	981,880

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	278.22円	380.40円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△42.04円	34.51円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	-	31.95円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)(千円)	△669,902	580,465
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千 円)	△669,902	580,465
普通株式の期中平均株式数(株)	15,936,491	16,821,875
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	-	△842
普通株式増加数(株)	-	1,318,159
(うち新株予約権(株))	-	360,305
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	-	957,854
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概 要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。